

表「ウェルビーイング in アジア」女性リーダー育成プログラム
2020 年度以降適応（MC に 2020 年度以降入講、DC に 2020 年度入講生が対象）

科目群	科目名	読替可能科目	年次・単位	目的・履修要件
基盤科目 (A) プラットフォーム 共通科目 (5 単位)	多文化共生特論 1~5 ^d “Special Lecture on Multicultural Societies” (Cross-Cultural Talk)	リサーチ・スキルズ D-1	M1~D3 各 1 単位 合計 5 単位	多文化共生の基盤となる異文化理解を深めるとともに、アジアに共通する課題を発掘する。各年必修。 多文化共生特論の毎年履修が望ましいが、リサーチスキルズ D-1 で読替可とする（5 回の内 1 回のみ適応）。
基盤科目 (B) プラットフォーム 共通選択必修 科目群 (5 単位)	社会心理学研究 III ^b , 日本の開発経験 ^a , 国際開発入門 ^a , 開発援助論 ^a , フィールドワーク入門 ^a , 開発協力論 ^a , 国際開発特殊講義 B（グローバルキャリア・ディベロップメント論） ^a , 社会医学 ^c , ヘルスケア管理論 ^c , 保健学セミナー ^c , 研究リテラシー ^d , 生命農学本論（英語） ^d プロフェッショナルリテラシー		M1~M2 各 2 単位以上 &プロフェッショナル リテラシー の 合計 5 単位	ウェルビーイング領域の研究の基盤となる幅広い開発リテラシーと学際的な視野を身につけ異文化への理解を促進する。 大学院共通科目のプロフェッショナルリテラシー（1 単位）を履修すること。
基盤科目 (C) 選択必修科目群 (4 単位)	1) 「国際開発協力コース」 ^a 科目： 多民族社会論, 貧困と社会政策, 開発と社会文化変容, 農村経済学, 開発とビジネス, 内発的発展論, 教育開発政策論, 教育開発協力とパートナーシップ, 教育とウェルビーイング 2) 「国際社会文化コース」 ^b 科目： 社会心理学研究I,		M1 後期～ M2 合計 4 単位	専門教育への導入を行いつつ、ウェルビーイング領域の研究の基盤となる幅広い 開発リテラシーと学際的な視野を修得し、多文化社会アジアへの理解を探究する。 2 科目を履修すること。

表「ウェルビーイング in アジア」女性リーダー育成プログラム

	社会・生涯教育研究 IV, 等 3)「医療行政学コース」^c科目: 臨床医学概論, 病理病態学 4)「保健学コース」^c科目: 生命倫理学, アジアのヘルスケアシステム 概論, コンサルテーション論, 医療管理概論、 等共通科目 5)「生命農学国際コース」科目^d: 酵素額特論 1, 栄養生化学特論, 生物分子工学特論, 森林環境学特論, 森林生物学特論, 森林社会学特論, 生物材料解析学特論, 等			
演習 (4 単位)	ウェルビーイング演習I ウェルビーイング演習 II		M1, M2 各 2 単位	出身研究科の演習Iおよび演習IIを履修し、研究能力の向上を図る。
グローバルリーダー特別講義 選択必修科目 (4 単位)	グローバルリーダー 1^d, グローバルリーダー 2^d 国際開発特殊講義A (グローバルリーダー3)^a グローバルリーダー 4^d 体験型講義「リーダーシップ」 体験型講義「チームビルディング」		M1～M2 各 1 単位以上、5 年間 修了までに 合計 4 単位	国際機関、JICA、民間企業でグローバルに活躍するリーダーによるゲスト講義シリーズ。グローバルリーダー1～4 の 2 科目以上を含む、3科目以上を履修すること。 GL2 は WB が指定した APCICT の e-learning を受講すること。
英語科目 (4 単位)	リサーチ・スキルズ A-1, A-2, B-1, B-2, B-3, B-4, C-1, C-2, C-3, C-4, C-5, C-6		M1～M2 各 2 単位 合計 4 単位	国際的な場で臆せず自分の考えを明確で効果的に伝え、専門的な論文を英語で書き、国際機関で働くために必要な英語能力を身につける。2 科目以上を履修すること。 なお、以下のものは、履修単位を免除する。 入講時 TOEFL iBT 85 点以上:4 単位

表「ウェルビーイング in アジア」女性リーダー育成プログラム

実践的科目 (選択科目)	海外実地研修 1 ^d , 選択 海外実地研修 2 ^d , 選択 インターンシップ研修(option) ^d 海外研修演習 1 ^d 選択 海外研修演習 2 ^d 選択			学際的な海外研修で課題に取り組む。 WB プログラムが認める各研究科で実施されている研修あるいは外部スタディーツアーに参加することで読替可とする。 研修事前準備に現地語学習を取り入れる。 「海外実地研修」履修前に「海外研修演習」の履修を必須とする。 「海外研修演習」は e-learning による自己学習が含まれる(WB プログラムが指定するタイトルの聴講及びレポート提出)。
博士論文研究 (6単位)	博士論文研究		D1~D3 合計 6 単位	博士論文研究の完成と学位取得のために、他研究科の教員を含む 3 名の教員の指導の下、研究指導体制が組まれる。

注：科目名の末尾は、講義を開講する研究科名を示す

a: 国際開発研究科、b:教育発達科学研究科、 c:医学系研究科、d:生命農学研究科